



渋川学区のシンボルマークとマスコットキャラクター“しぶはなちゃん”

編集発行 渋川学区まちづくり協議会  
(事務局：草津市立渋川まちづくりセンター内)  
☎525-0025 草津市西渋川二丁目9番38号  
☎077-569-0350 FAX 077-566-5143  
メールアドレス shibukawa@machikyou.jp  
ウェブサイト <http://www.machikyou.jp/shibukawa/>

渋川学区(2022年1月31日現在)  
人口 9,540人  
男性 4,769人 女性 4,771人  
世帯数 4,405世帯

まちづくり協議会より 渋川学区の将来像 ～笑顔・ふれあい・思いやりのまち・渋川～

## 第2回すこやかセミナーを開催し親子で学びました！

昨年12月18日(土)に、渋川まちづくりセンターの大会議室で「親子でいっしょに免疫アップ講座」を開催しました。当日は、【運動あそび】と【免疫力を上げる食事の講座】を実施しました。子どもたちは、講師の八戸智紀さんと一緒に遊びの中から身体のどの部分を動かしていけば丈夫な身体になるのかを楽しみながら学んでいました。その間、保護者の皆さんは、管理栄養士の伊藤有理さんから免疫力を上げるための食事のコツを学びました。参加者アンケートには、「身体のことが大切だと気づかされた」「薬膳について知らないことばかりで興味深かった」などのご意見がありました。コロナ禍で、なかなか思い切り身体を動かさずにいる子どもたちと、遊ばせてあげたいと願っていた保護者の皆さん、どちらも本当に楽しそうでした。

《子ども育成部会 大庭幸治》



## 筋力UPのコツを学びました



1月17日(月)に、健康福祉部会の主催で「いきいき筋力UP体操」を開催しました。今回も講師に中原今日子さんをお迎えし、総勢26人で参加者同士間隔を大きく空けて着席し、太ももの裏側やおなか周りなどの筋力アップのコツを学びました。

また、筋力維持のためには食事も大切で、たんぱく質の摂取量の目安は「手のひら大の厚さと大きさ」と具体的に教えていただいたことで、買い物の際など参考にしやすいと思います。参加者からは、「帰って母と一緒にやってみます」「身体がポカポカ温かくなって軽くなりました」などの声が寄せられました。

自粛生活も三年目に入り、高齢者の運動不足や認知症の進行が課題となっています。大津市の調査結果では1,590人(34.9%)の高齢者から「運動不足で筋力や体力が落ちた」との回答があったと1月26日の朝刊に載っていました。自宅でラジオ体操をしたり、近所を散歩したりして可能な範囲で身体を動かすようにしましょう。

《健康福祉部会 糸井敏明》

## 「人権現地研修」感染拡大で中止



1月22日(土)に計画していた「人権現地研修」は、市内の新型コロナウイルス感染症の急激な感染者拡大を受け、実施に向けて検討を重ねた結果、申し込みいただきおりました方々及び研修先等関係者の健康と安全を最優先に考え、中止いたしました。参加申し込みをいただいた方々には、研修先からいただいた資料を送付し研修に代えさせて頂きました。《教育文化スポーツ部会》



## ～令和3年度をふりかえって

### コロナ禍を経て、地域の皆さんとの「ふれあい」を前進！

**地域安全コミュニティ部会**では、地域の安全見守り、防犯設備（防犯カメラ・防犯灯設置）計画、河川や散在性ごみ一斉清掃、花いっぱい運動など住環境美化への取り組み、ならびにふれあいまつり、草津商工会議所主催の街あかり華あかり夢あかりへの協力など地域のつながりを深める事業を担当しています。どの事業も、地域の皆さまのご理解とご協力なしにはできない事業です。

残念ながらコロナ禍で今年度も多くの行事が中止となりました。例年10月には、渋川学区の大きな行事の一つであり、多くの模擬店や作品展示・各種団体の体験や自主教室の成果発表で賑わう「ふれあいまつり」を開催しています。これは、まちづくりセンターと小学校を会場として毎年のべ2,000人が参加する行事であり、町内の皆さまには計画・準備から実施と片付けまでご負担をおかけすることもあります。毎年、子どもたちや地域の皆さんの交流を深める場となっています。

しかし、住民同士の交流が困難な状況が2年以上も続いています。来年度は様々な対策を講じ、新しい方法で「大人も子どもたちも安心して参加が可能であり、安全に楽しむことができるまつり」を開催すべく協議を重ねています。コロナ禍だからと諦めるのではなく、常に前向きに地域の皆さまの楽しみを一つでも創作する事業の開催を、地域安全コミュニティ部会で検討していく所存です。

人と人とのつながりが笑顔で結ばれている地域こそ住みやすく魅力的な所であり、渋川学区がそんな素敵なまちであるように願います。地域の皆さまのご協力には感謝しかありません。今年度も学区のために様々な活動に参加していただいた全ての皆さまに厚く御礼申し上げます。



《地域安全コミュニティ部会  
部会長 平岡典子》

### 感染対策を講じて事業を開催☆カラダもココロも元気に！

渋川学区の皆さん、日ごろは**健康福祉部会**活動にご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、滋賀県では昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置等の発出により、自粛生活を余儀なくされる一年間でした。

当協議会では、敬老会対象の皆様のご長寿をお祝いするとともに長きにわたる社会貢献に感謝するため、今年度からは町内会ごとに身近な場所で「敬老会」を開催する予定でしたが、緊急事態宣言の期間と重なり全ての町内会が中止せざるを得ませんでした。

代わりに、町内会長や役員の方が一軒ずつ訪問しお祝いの品を届けてくださったことで安否確認ができたことは良かったと思います。

ご近所同士で集まって、賑やかに敬老会が開催できるよう、私たち部会員も祈っています。



9月 敬老会記念品のお届け



12月 渋川 歩こう会



10月 秋のミニコンサート

健康福祉部会では、今年度も募集人数を大幅に減らして「認知症予防体操」や「秋のミニコンサート」「渋川歩こう会」「いきいき筋力UP体操」を開催しました。特に「秋のミニコンサート」は、県立草津東高等学校吹奏楽部の皆さんをお招きして高齢者の皆さんと障がいのある人を対象に初めて企画しました。多くの参加者から感謝の言葉をいただき、私たち部会員もやって良かったと感じられるひとときでした。外出の機会が減り、地域交流も難しい日々が続きますが、皆で感染防止に努めつつ、一日も早く以前のように多くの皆さんと一緒に笑顔で活動できる日がくることを心から願っています。

《健康福祉部会 部会長 糸井敏明》



## 各部会長より ご挨拶～



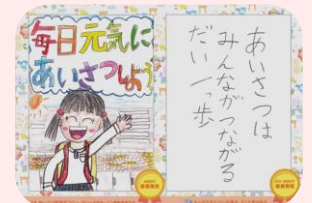
## コロナ禍でも子どもたちと楽しく事業を開催できました



子ども育成部会の事業は、地域の子どもと大人が楽しく交流しながらいろいろなことを体験し学ぶことをモットーに開催しています。残念ながら、今年度も「ふれあいコンサート」だけは開催できませんでしたが、昨年6月の「じゃがいも収穫体験」に始まり、7月の「第1回すこやかセミナー」、今年に入って1月の「第2回すこやかセミナー」、2月の「花植え、じゃがいも植え」など地域の皆さまと今できることを楽しく体験し学ぶことができたと思います。また、部会員の皆で手分けして毎月実施した「愛の声かけパトロール」や「あいさつ運動」の啓発作品の募集も行いました。

来年度からはさらに新しい事業も立ち上げ、より一層地域の皆様と楽しく体験し学ぶ機会をつくります。今後子ども育成部会をよろしく願いいたします。今年度一年間、ありがとうございました。

＜子ども育成部会  
部会長 大庭幸治＞



## 住民の健康第一の中でコミュニティを大切にしている部会活動へ

新型コロナウイルスは2年を経過しても、なお私たちに脅威を与え続けています。そのような中で、アフターコロナでありますとかウイズコロナという言葉も生まれ、少々の感染拡大であれば消極的にならず果敢に当初予定していた地域事業を進めようとする考え方もあったのかもしれませんが。確かに経済活動の低下に伴う、さまざまな影響の部分への配慮は重要なことであります。

しかしながら、**教育文化スポーツ部会**のいわゆるコミュニティ活動に対しましては、高齢者や子ども、その家族が有事に至らず、生活基盤を支える仕事や暮らしの維持に支障を与えないためにも私は慎重に部会活動に臨んでまいりました。そのため、結果として、市からの通知で人権事業の縮小化をはじめ、「ソフトボール大会」や「渋川の花踊りの保存に資する文化活動」など一部の活動しか実施できない一年となりました。

このことへの批判もあったかと思いますが、法に基づいて指定感染症第2類に指定されている感染症であることを軽く捉えてはならず、感染への懸念と事業の効果において、どちらに優位性があるかも考慮のうえ、単に公の指

定や宣言だけに責任を委ねるのではなく自己責任による判断を大切に危機管理の下、部会でご審議いただいたところでもあります。

次年度もおそらくは、まだしっかりとコロナ禍の影響が落ち着くことは無いと思われませんが、計画される取り組みができるかぎり多く展開され、笑顔でコミュニティの絆が深まる部会活動となりますことを心より祈念いたしております。

＜教育文化スポーツ部会 部会長 中野博之＞



## 渋川やすらぎ学級第7回と閉講式・第8回講座を開催

1月12日(水)に、渋川やすらぎ学級第7回講座「ちぎり絵～初夏のテッセン～」を開催しました。この講座は、当初5月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による延期で、初夏ではなく真冬の開催となりました。講師にちぎり絵の指導者である秋元涼子さんをお迎えし、初めて体験するちぎり絵について教えていただきました。まずは、テッセンの花びらになる部分を一枚ずつ手でちぎります。シャープな線で表現したい部分ははさみで切ります。次に、うす紫色の花びらと先生がちぎって準備しておいてくださった葉を、バランス良く色紙に糊で貼っていきます。受講生同士で相談しながら作業していき、終わるころには一人ひとり個性の違った美しいちぎり絵が出来上がりました。

また、秋元さんが制作された作品もたくさん展示してください、受講生は繊細で緻密な作品を見て「ちぎり絵に見えない。絵画のようだ」と驚きながら興味深く見入っていました。



2月9日(水)に、今年度の締めくくりとして閉講式とお楽しみ会を開催しました。閉講式で大羽運営委員長のあいさつのもと、皆出席の受講生11人の表彰を行いました。お楽しみ会では弦楽器アンサンブルトリオの白縹(しろはなだ)の皆さんをお迎えして、バイオリンとチェロの生演奏を楽しみました。クラシック曲をはじめ、琵琶湖周航の歌やフォークソングなど、弦楽器が奏でる音に受講生の皆さんは聞き入っていました。また、イントロクイズもあり、流行りのアニメソングが演奏され大盛り上がりでした。今年度も一時講座が開催できなくなることはありましたが、館外研修やグループ学習は再開することができました。今年度も、いろいろな方の講話を聞いたり体験したりして学びの多い一年間でした。

### 令和4年度渋川やすらぎ学級 受講生を募集します

渋川まちづくりセンターでは、60歳以上の皆さんに学びの場を提供するとともに、受講生同士の交流を深めることを目的に毎年「渋川やすらぎ学級」を開催しています。来年度の講座は、5月開講でミニコンサートや薬剤師さんによる講演、ニュースポーツの体験などを予定しています。詳しくは、3月1日号の広報くさつと同時に配布する「渋川やすらぎ学級受講生募集」ちらしをご覧の上、申込書に必要事項を記入し参加費を添えて渋川まちづくりセンターの窓口でお申し込みください。

なお、各講座は、今後の感染状況により内容を変更したり、やむを得ず中止したりする場合がありますので、何卒ご了承願います。



### 職員の異動について

\*1月1日付で、南田菊江が事務局長兼センター長に就任いたしました。住みやすいまちづくりを進めていくため精一杯努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



#### 《センター利用の皆さんへ》

渋川まちづくりセンターでは、毎年センターを利用される人を対象に、アンケートを行って「駐車場が足りない」というご意見を毎年いただきますが、市に確認しましたところ増設の予定はないとのことでした。

現在、職員が渋川福複センターにご用のない方の駐車を見かけたら急いでお断りに走ったり、貼紙等で注意を促したりして対応しているところです。渋川まちづくりセンターが入っている「渋川福複センター」は、草津市障害者福祉センター等を含む市立の複合施設ですので、草津市全域から多くの市民が来館されます。卓球や囲碁将棋など自主教室等でセンターをご利用の場合は、ぜひ自転車や徒歩でお越しいただきますようご協力をお願いします。

### 渋川まちづくりセンター利用者アンケートの結果の報告

令和4年1月5日から26日までの期間で、まちづくりセンターの利用者を対象に利用者アンケートを実施しましたところ306人の方から回答がありました。主な集計結果を報告いたします。ご協力、ありがとうございました。

◎利用者の年齢は70歳代が最も多く51.3%、また60歳以上は全体の86.6%でした。

◎センターの満足度に関しては、駐車場・駐輪場に対しての「やや不満」と「不満」は33人で、「すぐいっぱいになる」等のご意見がありました。

◎職員の対応は「満足」と「やや満足」を合わせて74.8%でした。